



<http://www.sccs-jp.org/>

白浜シンポジウム新聞

発行: コンピュータ犯罪に関する白浜シンポジウム実行委員会

取材: 実行委員会ボランティアスタッフほか 編集: 上原/加藤 06年5月25日(木) 発行

Vol.6 No1

第10回コンピュータ犯罪に関する白浜シンポジウム 開幕!

「これまでの10年、これからの10年」

日本三大古湯の町、パンダの町、そして情報セキュリティの町、白浜へようこそ! 皆様のおかげさまをもちまして、「コンピュータ犯罪に関する白浜シンポジウム」は10周年を迎えることができました。遠路はるばるこの白浜の地にお集まりいただいた皆様を、スタッフ一同こころより歓迎いたします。

10年前といえばWindows95の発売によって日本でも家庭へのインターネット普及が本格化し、ビジネスにおける利用も立ち上がってきたころでした。それ以来、インターネットは社会の隅々に急速に浸透していききましたが、それと同時にこの10年さまざまな事件が起きました。情報漏えいの問題、ウィルスやスパイウェアの問題、不正アクセス事件、さまざまな詐欺事件、著作権問題などなど。これはイ

ンターネットがもたらす新しい社会に向けての、産みの苦しみのなかも知れません。

事件が次々と起きる中で、社会におけるセキュリティに関する意識は確かに高まりました。政府も、利用と普及に力点があった「e-Japan戦略」が、安全安心の文字がそこここにちりばめられた「IT新改革戦略」に

切り替わったことによって、セキュリティに政策の力点を移す姿勢を見せているように見えます。それは喜ばしいことですが、技術の発展に追従できているかどうかはチェックが必要です。残念ながら技術の発展は政策を引き離す速度で進んでいきます。それは新たな利活用法を産むと同時に、悪用の可能性もどん

どん広げてしまう可能性があるのです。

今回のシンポジウムでは、この10年のサイバー犯罪の歴史を振り返るとともに、技術の発展を見据え次の10年を占ってみたいと思います。未来を語ることは難しいことですが、セキュリティは後手に回ると手がつけられなくなるものです。社会の隅々に必要なサイバー犯罪の予防策、そして事後対応策について、みなさんと考えてみたいと思います。産官学と揃った幅広い広い分野の皆さんとともに活発な議論を楽しめますことをお祈りしております。また同時に、風光明媚な白浜の地の景色と食事、温泉を是非この機会にお楽しみください。

プログラムはお手元に配布しておりますが、変更等がありましたらロビー付近に掲示いたします。なお、事務局でお受けしたFAXや電話に関してはその旨掲示しますのでご覧ください。

現地事務局(NPO情報セキュリティ研究所)

Tel/Fax 0739-26-7100

ナイトセッション等会場(ホテルシーモア)

Tel 0739-43-1000 Fax 0739-43-1110

